（様式１）

令和２年度　岩手県立盛岡第四高等学校経営計画

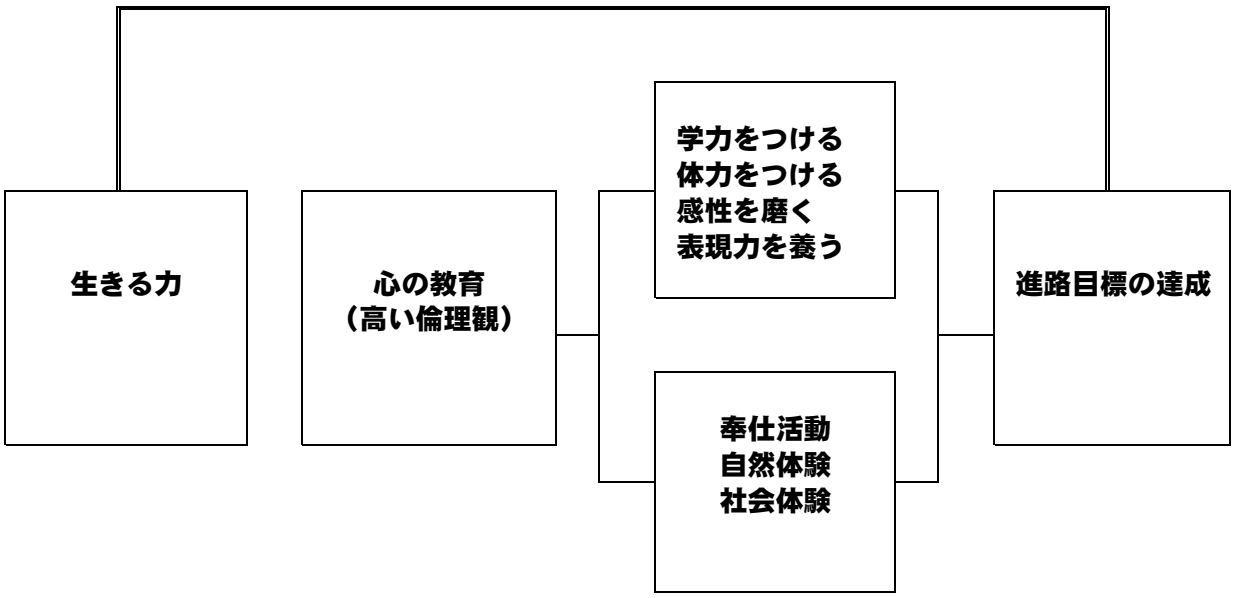
校長：　五日市　健

<table>
<tr><td rowspan="4">１
現状把握及び将来展望</td><td></td><td>児童生徒</td><td>保護者</td><td>地域住民</td><td>周辺の中学校</td></tr>
<tr><td>(1)　学校に対するニーズ</td><td>・学力の向上
・進路目標の達成
・自由な校風のもとでの充実した高校生活</td><td>・学校生活の充実
・進路目標の達成・実績の向上</td><td>・地域に貢献する人材育成
・安心・安全な学校生活</td><td>・部活動の充実
・わかりやすい学校情報の発信
・体験入学</td></tr>
<tr><td>(2)　パートナーとの関係</td><td>・主体的学習態度の確立
・学力の定着
・知徳体の調和のとれた生徒の育成</td><td>・教育活動への協力依頼
・学校情報・進路情報の発信</td><td>・教育活動への協力依頼
・交通事故等の未然防止</td><td>・中高連携
・学校説明会</td></tr>
<tr><td>(3)　学校に影響を与える変化</td><td colspan="4">・新学習指導要領に基づく授業改善
・大学入試改革に伴う高校教育の質保証
・高等学校整備計画による学級減に対応した教育内容と校内体制の見直し</td></tr>
<tr><td colspan="2">２　校訓・教育目標</td><td colspan="4">建学の精神を四大綱領として継承し、地域や社会に貢献できる知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">３
目指す学校像</td><td rowspan="5">(1)　今年度の重点目標</td><td>重点目標</td><td colspan="2">達成指標</td></tr>
<tr><td>ア　学力の向上と授業の充実</td><td colspan="2">・授業満足度・学習意欲（90%以上）
・互見授業の実施（90%以上）</td></tr>
<tr><td>イ　進路目標の実現と進路実績の向上</td><td colspan="2">・４年制大学志望者の達成率（90%）
・国公立大学進学者の割合（在籍の45%以上）</td></tr>
<tr><td>ウ　基本的生活習慣および規範意識の確立</td><td colspan="2">・年間の遅刻率（1%以内）
年間の欠席率（1%以内）</td></tr>
<tr><td>エ　部活動、特別活動の充実</td><td colspan="2">・学習と部活動の両立（65%以上）</td></tr>
<tr><td>オ　いじめ問題の防止と組織的対応の強化</td><td colspan="2">・生徒が主体的にいじめ問題へ取り組む活動を実施（100%）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">(2)　取組方針</td><td colspan="3">ア　学力の向上と授業力に充実
(ｱ)　自主性を重んじ、自ら考え、判断し、実行する能力の育成
(ｲ)　家庭学習の質の向上及び授業評価を授業改善に結びつける工夫</td></tr>
<tr><td colspan="3">イ　進路目標の実現と進路実績の向上
(ｱ)　自ら将来像を描けるようなキャリア教育の推進
(ｲ)　新入試制度の情報提供と対応できる実践力の養成</td></tr>
<tr><td colspan="3">ウ　基本的生活習慣および規範意識の確立
(ｱ)　自律した社会人を目指し基本的な生活習慣や規範意識を醸成
(ｲ)　登下校の交通安全とマナー意識の向上及び情報モラルの徹底</td></tr>
<tr><td colspan="3">エ　部活動、特別活動の充実
(ｱ)　責任感、連帯感を涵養し、大会・発表を通じて自己肯定感を高める活動
(ｲ)　学校行事・生徒会活動、地域への貢献活動の充実</td></tr>
<tr><td colspan="3">オ　いじめ問題の防止と組織的対応の強化
(ｱ)　生徒・保護者に「いじめ対策組織」を周知し情報の共有
(ｲ)　教育相談体制を充実し、生徒の悩みや問題を早期発見、迅速な対応</td></tr>
</table>

【資料】四高ビジョン２１（２０２０）

四高ビジョン２１

本校の目指す生徒像



２１世紀は、国内的には少子高齢社会が到来し、対外的には国際的な協調と協働の時代を迎える。 　新たな局面の様々な課題に対し、自主的に取り組み力強く賢明に生きていくことのできる生徒。	「生きる力」の養成には、知育、徳育、体育のバランスの上に立った幅広い力を身に付けることが必要である。 　中でも、「心の教育」は重要である。善悪の判断、挨拶などのマナー、生命の大切さを体得し、実践できる生徒。	知力の向上は、人格の形成と表裏一体の関係である。 　読書や人との出会いといった体験を通じて感性を磨き、人格を高め、自己を適切に表現し、他人の考えを理解することのできる生徒。	「生きる力」を身に付け、「心の教育」、「人格の形成」を通じて、自己の将来に自信と誇りを持つことが重要である。 　人生に力強い展望を開くため、自ら決めた進路目標を達成することのできる生徒。
⇩	⇩	⇩	⇩
【真理】	【誠実】	【敬愛】	【大志】

(R2.4.26 版)